

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					利用児童数	
仙台市サンホーム		令和8年 3月 2日					令和8年 1月 1日	
							回収数 27名	
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	6			・活動内容に応じた広さがあり、安全に配慮されている。 ・子どもの人数によって(本来なら十分なスペースが確保されている)と思うが、先生・保護者・子どもが集まることや手狭に感じることがある(子ども同士の衝突など) / うちの子は走り回る事が多いので、おちやなどでもおちやには他の子にあたりそうで怖い / クラスの人数が増えたらスペースが狭くなる。 ・手厚い先生の数が十分あるので、一人ひとりの行動や様子をよく見てもらえる / 子ども一人ひとりに目が行き届いており適切だと感じる。 ・なにかあってもしすぐに対応してくれる距離にいて安心	・定員1日30名のため1クラス10名定員で3クラス編成が基本である。保護者と掛け先のないきょうだい児も含めると保育室内の人口密度が高くなりやすい。きょうだい児を別室でお預かりしたり、活動スペースを区切るなどしながら、子ども同士の衝突やトラブルがないようにスタッフが細心の注意を払っている。引き続き、より安全な保育活動のための環境改善や活動プログラムの工夫を実施し、子どもの状態や人数、活動内容などから必要に応じて担任3名+フリースタッフや作業療法士、公認心理師などが常駐に入っており、こども支援はもちろん、保護者支援も適切に行えるようフリーのスタッフを整えている。
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27						
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27				・たれでも利用しやすい環境が整っている。 ・こども用のスケジュールのマークがわかりにくい部分があったので、別のマークの方が良い。 ・テーブルの四つ角をカバーして欲しい	・こどもの発達段階や特性に応じて、生活空間を構造化している。また十分でない所については、引き続き個々のアセスメントを行いながら、こどもにとってよりわかりやすい環境を整備していく。また、安全面に配慮し、修繕が必要な箇所は速やかに対応していく。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1			・いつもきれいな空間にしたいという思いが強い / 清潔で心地よい環境が保たれており、こどもの活動に合わせた空間作りがされている。 ・トイレの扉は衛生面からどうなのかな?と思うことがある	・毎日の清掃に加え、活動や生活で汚れた箇所は随時対応するようになっている。こども用トイレについては、衛生面のこどもたちが使うことによりトイレにリッパを貼るなどしていないため、こどもが使用する度に汚れがないかスタッフがチェックし、清潔を保つようになっている。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2			・親と共に子どもを理解しようと毎日情報収集や報告をしてくれる。場面の切り替えができない時に、次のごとを写真や絵に示して興味を持ってもらえるなど工夫がたくさんある / こどもの変化や特性を気づいて対応している。 ・こちらからの相談がないと、はっきりした解決策がよく見えてこ	・目的行動観察やとりかざりなどのことを理解し、チームで支援することを大切にしている。また、職員は日頃から研修等を通してこどもの特性理解についてアップデートし、個別支援に活かしている。今後は、保護者との共有や具体的な取り組みの提案などがタイムリーにできるように進んでいく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			3	・支援内容と合っていると思う	・身の向きや姿勢、指定活動や自由遊び、生活動作(食卓・排泄・着脱)などについてお話をもちぎ活動プログラムを設定している。引き続き、クラスごとにならぬ内容を考え、こども一人ひとりにあったプログラムが提供できるように工夫していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	1		1	・子どものことを親以上に分かっていただき、言語化してもらい、気づかされることがたくさんある / こどもの特性をよく理解し、丁寧に個別支援計画を立てていただいている	・こどもの行動や前回の様子から気持ちの観察と、こども自身が感じる課題を保護者と共有しながら、具体的な取り組みを個別支援計画に反映するようにしている。引き続き、こどもと保護者のニーズを適切に捉えられた支援計画を作成できるようにする。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		2	・認可外保育施設を利用しているが、サンホームの先生が関心でこどもの様子を見て来てくれて安心し強くなった。 / 具体的な支援内容が設定されている	・本人支援を中心に、保護者と取り組んでほしいことや他の連携機関および次の進路先の移行支援にも配慮した項目をききながら支援内容を設定している。引き続き、ガイドラインに沿ったながらも、本当に必要な支援内容が提供できているかを常に確認しながら取り組んでいく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1	・計画に沿った支援が行われている	・支援計画に沿って支援を行っていないながらも、必要に応じて内容の検討をしている。また、内容や方向性に変更があった場合には、随時保護者と共有しながら計画の見直しを行っている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		1	・安心できる同じこと、楽しい変化が繰り返されている / 柔軟な対応ができていく / 毎週異なる活動や文化を取り入れており飽きがない / 朝晩にしている / 毎週異なる活動や文化を取り入れており飽きがない / 朝晩にしている / 毎週異なる活動や文化を取り入れており飽きがない	・クラス活動では、こどもの発達段階と四季折々の要素を取り入れながら活動プログラムを調整している。また、個々の特性や手さぎにも配慮した活動の工夫を心がけている。引き続き、ガイドラインに沿った内容が一律にならないよう工夫されており、毎回新鮮な気持ちで取り組んでいる
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	5		1	・交流は良い刺激になっていると思う / 保育園の子たちと一緒に遊ぶ機会があった / 保育園と一緒に遊ぶ機会がある / 経験になっている。 ・2回/年ほどだった	・近隣の保育園との交流を定期的に実施している。その中で、まずは場所を借りておちやから始め、徐々に両園のこどもも集団で交流できる機会を設定している。双方の行事や天候、感染症拡大などの配慮から頻度や低くはしたが、課題である。今後は急なキャンセルも視野に入れた計画を立て、交流の機会を増やしていく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26			1	・説明する前に丁寧に説明を受けた / わかりやすく丁寧に説明していただき、安心して利用を始めることができた	・契約時のオリエンテーションにて、できるだけ丁寧に説明するようにしている。説明内容が多くなりすぎないように配慮していることから、引き続き、説明が足りなかったところは後日補正するようにしていく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26			1	・個別面談の際に説明を受けた / 支援計画を示しながら支援内容の説明があった	・定期的個別面談の際には、必ず個別支援計画をお示ししている。引き続き、支援計画のなかで、具体的な支援内容を保護者と共有していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25			2	・毎週とも勉強になり、生活に活かせるよう意識している / 勉強会など夫婦で参加することができ / 定期的な勉強会がある / 機会がある	・保護者勉強会の「自己肯定感を育む」というテーマに、「ペアレント・トレーニング」の要素を取り入れている。ペアワークをしながら、子育てへの向き合い方について全体で学ぶ機会を大切にしている。
保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	26			1	・こちらからも伝えやすい環境を作っていた / 日々の様子や健康や発達について共通理解ができています	・日々の保育内容に関わりながら、家庭での状況も含めて保護者とやりとりするようにしている。引き続き、丁寧な聞き取りを行いながら、保護者がタイムリーに相談できる環境を整えながら、子どもも共通理解を行っていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26			1	・丁寧に聞いてもらい親の悩みに寄り添って見守り / 子どものことをより肯定的に見ることができ / 助言が受けられる / 面談の際には、親の悩みに寄り添って見守り / 子どものことをより肯定的に見ることができ / 助言が受けられる / 面談の際には、親の悩みに寄り添って見守り / 子どものことをより肯定的に見ることができ / 助言が受けられる	・日頃の保育場面や面談等を通して、こどもの理解や適切なかわり方、必要な配慮・支援について丁寧に説明できるようにしている。引き続き、丁寧な聞き取りを行いながら、保護者がタイムリーに相談できる環境を整えながら、子どもも共通理解を行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1		1	・母子ともに親身に話を聞いてもらい / 気持ちよく話せる / 共感を持って話を聞いてもらい / 気持ちよく話せる / 共感を持って話を聞いてもらい / 気持ちよく話せる	・子育てに悩む保護者のお気持ちに丁寧に寄り添うことを心がけ、保護者の思いを汲みながら一緒に支援内容を考えるようにしている。引き続き、こどもにとって、保護者にとって安心して通える場所になることを大切にしたい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3		6	・父親が参加しやすいように土曜日に家族参観をして / 平日仕事で参加できないので、休日の交流会などが開催される / 父親が参加しやすいように土曜日に家族参観をして / 平日仕事で参加できないので、休日の交流会などが開催される	・親の会はないが、年後のプレイルームや懇話会などを通じて、保護者同士の交流が図れる機会をもちている。また、土曜日の参観日を設けることで、普段なかなか参加できない父親同士の交流も図った。また、きょうだい児については、長期休みなどスタッフがお預かりし別室での活動提供を行うことで、丁寧なきょうだい支援ときょうだい同士の交流が図れた。引き続き、積極的に交流の場を設定していく。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1		2	・いつも話を聞いてアドバイスをいただき / 感謝している / 相談に応じて / 相談に応じて / 相談に応じて / 相談に応じて	・保護者からの相談や申し入れに対して、クラス担任以外にも、作業療法士、心理士、看護師を始めとする専門スタッフ、園長や主任、地域支援員等、保護者の相談内容に合わせて相談できる体制を整えている。引き続き、定期的な面談に加え、随時相談できる場があることを保護者の皆様にもわかりやすく周知していく。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26			1	・いつも配慮してくださっている/日頃からスムーズにできており、安心してやり取りができています	・日々の運営を通して、子どもや保護者と丁寧にやりとりしている中で、必要に応じて視覚的にわかりやすいツールの工夫を行うようになっている。特に、毎日・単発登園クラスでは、連絡帳を用いて、日々の様子についてもしっかりお伝えするようにしている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26			1	・配布物やメール等の連絡も受け取っている/毎月の通信があり、保護者向けに情報発信している	・毎月のサンホームだよりに加え、定期発行の保護だよりや、法人の機関誌にて活動内容や行事の案内、その他のトピックスなどを発信している。また、法人のホームページでは施設概要と自己評価の結果を毎年提示している。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27					・何かある時には同意書の記入を求められるので徹底していると感じる/留意されている	・個人情報に関する書類はすべて鍵のかかる箱にて保管され、厳重に取り扱っている。また、親子の写真や文章の掲載などについては、必ず保護者の承諾を得るようにしており、必要に応じて同意書もお渡ししている。引き続き、個人情報保護の観点より、研修や職員会議での周知を行い、取り扱いは十分配慮していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2		3	・マニュアルを配布されている/避難訓練が行われている ・マニュアルや説明はありますが、訓練については実施されているか分からない	・契約時のオリエンテーションでは、各マニュアルが整備され、必要な研修や訓練が行われていることを周知している。今後は、実際に訓練が実施された際には、タイムリーに保護者へその内容が周知できるように取り組んでいく。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27					・避難訓練が何度も行われていた	・主に地震や火事を想定した避難訓練を毎月行っている（毎月曜日）が異なるため、隔日登園クラスにおいては2ヶ月に一回の参加となる。時間帯や状況などあらゆる想定のもと、集合型・一次避難から近隣公園への三次避難まで実施するようにしている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25				2	・外あそびの時には、気温などで室内あそびに変更したり安全面もしっかりしている	・安全計画が作成されており、日常の事故防止のための取り組みだけでなく、外あそびでの熱中症対策や水あそびにおける注意点等全職員で共有しながら、子どもの安全を確保するようにしている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25				2	・怪我をした際とても気にかけていただいている/何かあったが説明されるし、冷やすなどの対応も速かった/まだ事故は発生してないが、方々の対応など事前の説明があった	・事故や怪我があった際には、速やかに保護者と共有し、看護師に指示を仰ぎながら適切な処置ができるようにしている。また、前後の状況や事故の背景についても説明し、必要に応じて受診をおすすめ、または同行するなどの対応をしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26				1	・行き渋りがあったが、すぐに対応していただいたことで楽しく通えている/息子から安心感と信頼感が伝わってくる/先生を信頼している/子どもが安心して通所しており、落ちついて過ごせている	・子どもの安心感、職員・場所・あそびだけでなく、保護者の安心感とつながっているため、引き続き、親子で安心して過ごせる環境作りを大切にに取り組んでいく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1			1	・毎日通いたいほど楽しみにしている/子どものやりたい気持ちを確認してくれるので、行くことを楽しみにしている/通園日は「バスのる」と書んでいる/毎日通園を楽しそうにしている/子どもは通所の日を楽しみにしていて、先生のこと大好きです ・以前よりは楽しみにしていると思う（楽しみの目的あれば）	・子どもたちにとっての「楽しい」を引き出すための活動プログラム（好きなこと、簡単にできること、ちょっとがんばってできること、人とのかわり等など〜）の工夫を引き続き行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				1	・事業所ごと支援していただきありがとうございます！/大満足です！/アットホームで温かい園です/満足している/支援はとてども丁寧で、全体としても満足しています	・引き続き、こどもへの支援、保護者への支援、地域とのつながり等必要な支援がその都度適切に行えるよう、職員一人ひとりが自覚を持ち、自己研鑽しながら取り組んでいく。また、共通の研修や意見交換を通して、チーム支援の強化に励んでいく。